

令和4年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号:28-4

担当部局・担当課名:教育委員会 小中学校課

事業名	社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業	評価結果	現行どおり
-----	-----------------	------	-------

事業レビューにおいて発言のあった主な意見

【委員の意見】

- ・目的はもっと明確にしたほうが良いと思う。子供の頃からの正しい職業観を指導することが大切である。
- ・経済同友会、経営者協会、商工会連合会などの経済団体に伝えれば、受入先の問題は解消できると思う。
- ・職業体験を行っているかいないかで、学生間で行動の差も出てきて、意識の高さが表れたりするので、この事業を中学生の時期あたりに体験することは必要なのではないかなと思う。
- ・本当に伝えたいメッセージとかやりたいことは何なのかという今の教育委員会の熱意を伝えない限りは、結局、形骸化したまま終わるのではないかなと思う。この事業の目的って何なのでしょう。
- ・教育委員会が子供達のことを真剣に考えて、何とかして職業体験ができないコロナ禍に、代わりにいい体験をさせてあげたいと思っているということをお伝えする必要もあるのかなと思った。
- ・この事業にどういう価値があるかということ、この機会にこそ整理をして次に備えることが必要と思う。
- ・経済界は、富山で育った子を受け入れていい体験をさせてあげたいと思っている。大いに経済団体を使っていたければ、より充実した事業になると思う。

【県民評価者の意見】

- ・目的として、人間関係が希薄になるので体験させたいというのであれば、何か困ったときに職場の人が助けてくれるというような体験をさせてあげたらいいのかなと思う。
- ・コロナ禍で、職業体験ができないということで、講演会とかをされているということを知り、いろんなことで努力されていることがよく分かった。

県民評価者の評価シートによる評価

県民評価者総数 11

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (やめたほうがいい)	役割分担 見直し (市町村単位で 実施したらよい)	抜本的改善 (5日間の企業体験を 変えてもいい)	一部改善 (事業の意義、目的を もう一度整理し伝える)	現行どおり ・拡充 (今の進め方、考え方よ い)
	0	0	0	5	6
県民評価者の 主な評価 シート コメント	【現行どおり・拡充】 ・若いうちに社会体験をすることは、今後の生き方を考える上で大いに役立つと思う。 ・コロナ禍で実施が困難な業種もあるが、対策を取れるのであれば実施の継続が望ましい。 ・職場によっては、良い効果が見られないところもあるので、その原因調査と対策が必要である。 ・受入側事業所の負担は大変であろう。 ・すばらしい体験で続けてもらいたい。 ・人間関係の希薄を重視するなら、仕事の大変さや一人ではできないことを知ってほしい。 ・地域、人とのつながりを強めてほしい。 ・職業選択を目指すなら、中学生レベルを超える体験をさせてあげてほしい。				
	【一部改善】 ・とても良い事業だと思う。ぜひ、子供たちを第一にすえた事業運用をお願いしたい。 ・子供の経験をどのように財産にするかを保護者と子供の話し合いで補完すると良いと思う。 ・目的があいまい。当初の実施から世の中が変化しているので、目的の再設定が必要ではないか。 ・事業者側に本事業の趣旨をしっかりと理解した上で受け入れてもらうようにしてほしい。 ・多感な時期において、とても貴重な体験であり、関わる大人も喜びにつながる取り組みである。 ・学校、事業者、市町村に加えて、保護者にも趣旨を理解してもらう機会があると良いと思う。 ・継続も、原点に立ち戻ることが大切。				

事業名	社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業	評価結果	現行どおり
------------	-----------------	-------------	-------

【参考】委員による評価					委員総数	4
評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (やめたほうがいい)	役割分担 見直し (市町村単位で 実施したらよい)	抜本的改善 (5日間の企業体験を 変えてもいい)	一部改善 (事業の意義、目的を もう一度整理し伝える)	現行どおり ・拡充 (今の進め方、考え方によ い)	
	0	0	0	2	2	
委員 の コ メ ン ト 評 価 シ ー ト	<p>【一部改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県が、全市町村が責任をもって実施できるよう受入先のフォローなどを密に行うべき。 ・県庁でもぜひ職業体験を。(既に実施しているかもしれないが。) ・afterコロナ、withコロナについても考える必要もまだある。学校の実情に関する改善も必要。 					

県の対応

対応方針	現行どおり	事業内容継続			
	○ねらいが明確になるようパンフレットを改訂 ○経済団体等と連携するなど、新規受入事業所の開拓を引き続き推進				
R5当初予算 での対応	R5当初予算(案)	14,900(千円)	R4当初予算	15,046(千円)	増減額 ▲146(千円)
	増減理由	・本事業に参加する中学校2年生の生徒数及び学級数減に伴う市町村への補助金の減額によるもの			

事業名	社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業	評価結果	現行どおり
------------	-----------------	-------------	-------

当初予算編成プロセスの見える化

令和5年度当初予算	要求状況	要求額	14,900(千円)	前年度予算額	15,046(千円)	
		事業の目的	中学校2年生が学校外で職場体験活動等に参加することにより、規範意識や社会性を高め、将来の自分の生き方を考えるなど、生涯にわたってたくましく生き抜く力を身に付ける。			
		事業内容	引き続き「14歳の挑戦」事業を継続するとともに、官民協働事業レビューでの意見を踏まえて以下の取組みを実施 ①事業の趣旨の周知 ・生徒、家庭、事業所等向けパンフレットを改訂し、本事業の趣旨などを強調 ・市町村教育委員会担当者及び中学校長会への説明会を実施 ・県広報誌や広報番組、SNSを活用してPR ②受入事業所の開拓に向けた協力要請 改訂したパンフレットも活用し、経済団体等に協力要請 ③新規受入事業所リストを作成し、市町村教委、学校へ情報提供			
		積算内訳	市町村への補助14,460千円、PR経費等440千円			
	予算編成過程における議論	レビューにおける意見を踏まえ、事業趣旨の周知や受入事業所の開拓を進めることとしており、適切に見直しが行われている。				
	最終的な予算案	予算額	14,900(千円)			
要求時点からの変更点		変更なし				